



酒田大火（昭和51年）

酒田を襲った

第176回企画展

災害の歴史



酒田大震災石版画（明治27年）

期間

平成24年
6月2日（土）～
7月24日（火）

開館時間

午前9時～
午後4時30分

入館料

一般100円
学生 50円
（小中学生は土日無料）

酒田市立資料館

SAKATA CITY MUSEUM

山形県酒田市一番町8番16号 TEL 0234-24-6544
e-mail:sakata-city-museum@city.sakata.yamagata.jp

酒田を襲った災害の歴史



飛鳥の婦人消防隊の半纏

鳥海山の麓、最上川の河口に位置する酒田は、豊かな自然の恩恵を受けてきました。その一方で、「出羽国」と呼ばれた大昔から、大地震、噴火、洪水、^{かんぼう}旱魃、大火など、大きな災害に幾度となく見舞われてきました。天保4年の大飢饉、明治27年の酒田大地震、昭和51年の酒田大火など、貴重な歴史資料を紹介します。

どのような災害が酒田を襲い、人々はどう対応し、立ち直ってきたのか。東日本大震災から1年が経過した今、改めて災害の歴史に触れ、学ぶことに大きな意味があるはずです。

酒田における主な災害

- 嘉祥3年(850) 10月16日、出羽国大地震。圧死者多数
- 貞観13年(871) 4月8日、鳥海山大噴火。泥流氾濫
- 文正元年(1466) 白髭水洪水。53町歩流失
- 明暦2年(1656) 5月2日、明暦の大火。焼失704棟
- 天和2年(1682) 4月3日、大洪水。新井田蔵浸水、亀ヶ崎城の橋流失
- 宝暦5年(1755) 宝暦の大飢饉。餓死者多数
- 明和9年(1772) 4月15日、大火。焼失2,182棟
- 天明3年(1783) 天明の大飢饉。食料不足によって病が流行、死者多数
- 享和元年(1801) 7月7日、鳥海山大噴火。新山(享和岳)誕生
- 文化元年(1804) 6月4日、日本海沿岸で大地震。亀ヶ崎城大破、全半壊1,000棟超
- 天保4年(1833) 天保の大飢饉。大凶作
10月26日、大地震。全半壊480棟余
- 明治27年(1894) 10月22日、酒田大地震。全焼1,747棟、倒壊1,558棟、死者162人
- 38年(1905) 8月、最上川氾濫。大宮・大町・遊摺部が孤島と化す
- 昭和39年(1964) 6月16日、新潟地震。酒田は震度5
- 49年(1974) 3月1日、鳥海山に噴煙
- 51年(1976) 10月29日、酒田大火。焼失1,774棟
- 58年(1983) 5月26日、日本海中部地震。津波発生、漁船破損。酒田は震度4
- 平成23年(2011) 3月11日、東日本大震災。酒田は震度5弱



新潟地震による地割れ

調査員による展示解説

日時 6月10日(日)・17日(日)・7月7日(土)
午前10時～

※申し込みの必要はありません。
※開始時間までに1階展示室にお集まりください。



享和の大噴火前の鳥海山張抜模型 酒田市指定文化財



『大泉叢誌』(享和元年の鳥海山噴火)

次回企画展 江戸時代の酒田の風景

平成24年7月28日(土)～9月24日(月)

協力者一覧
(五十音順)

石船神社(浜中)
国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所
酒田市立光丘文庫・酒田市水道局水道部
公益財団法人致道博物館・鶴岡市郷土資料館
八幡神社(市条)・山形県港湾事務所・山口龍二氏